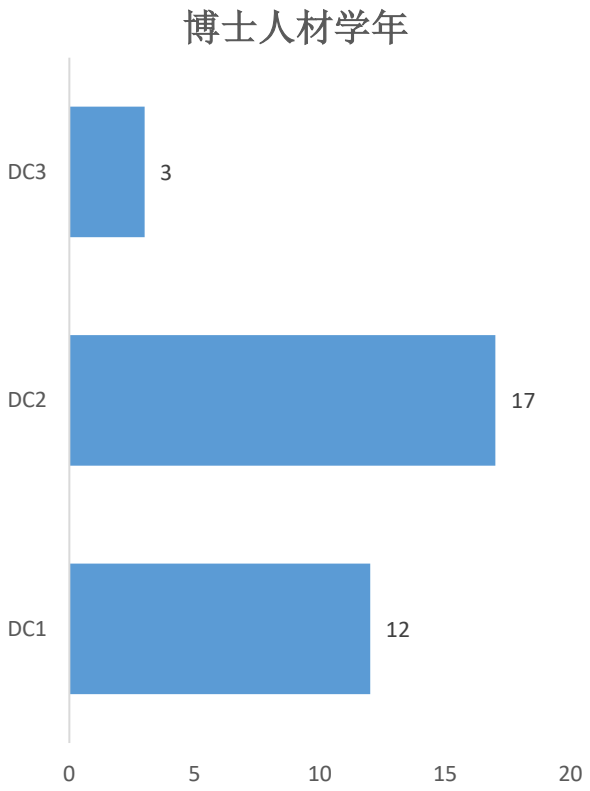
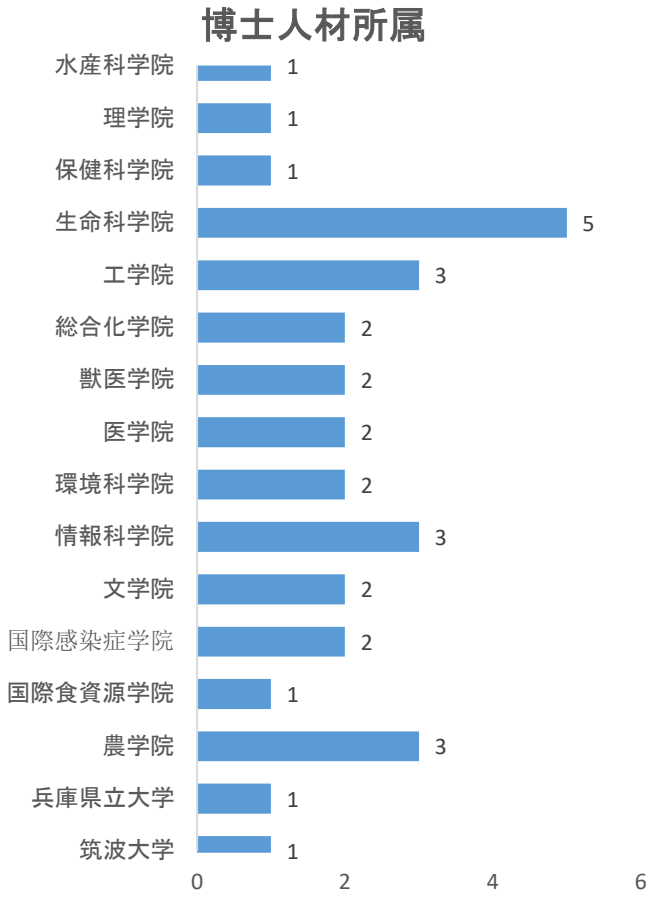
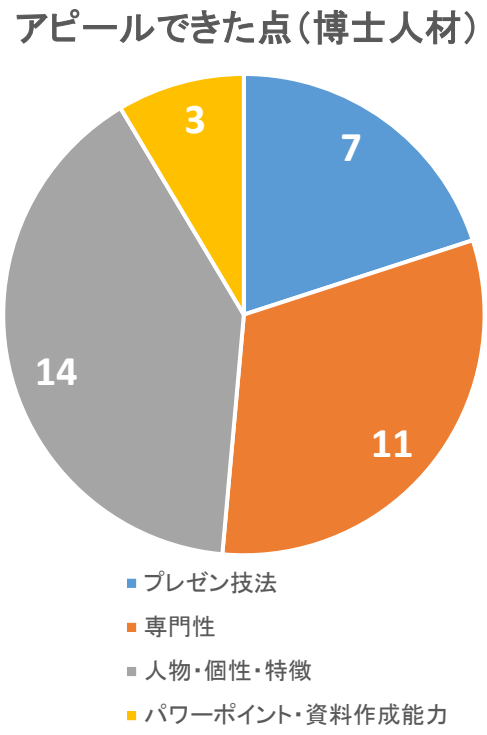
第60回（R7第3回）赤い糸会（ONLINE）アンケート

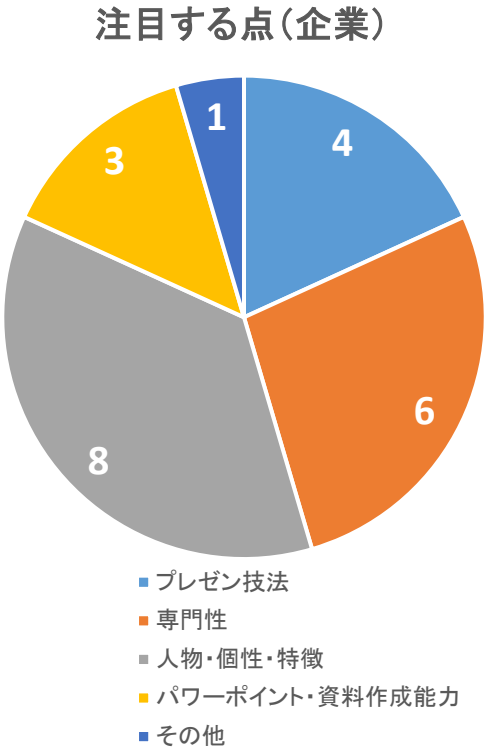
[1] 回答者：博士人材29名（※うち20名分掲載）
企業12名（※うち9名分掲載）
参加者：博士人材32名・企業12社





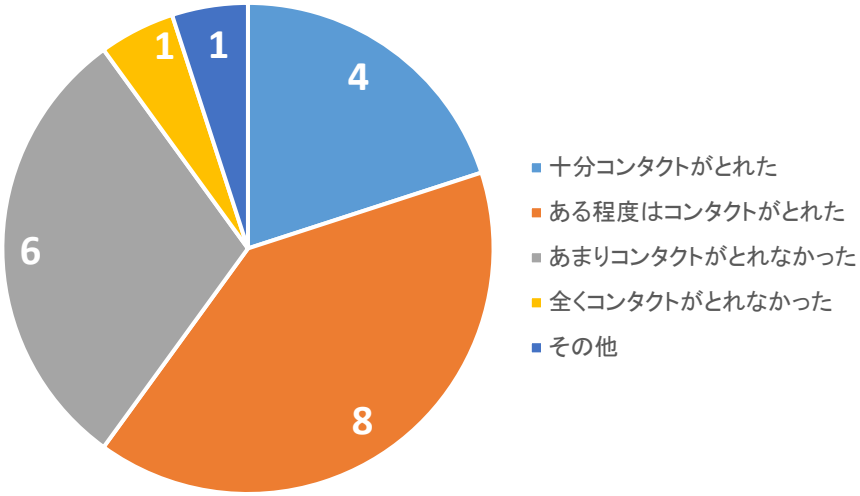
[2] 博士人材プレゼンテーション

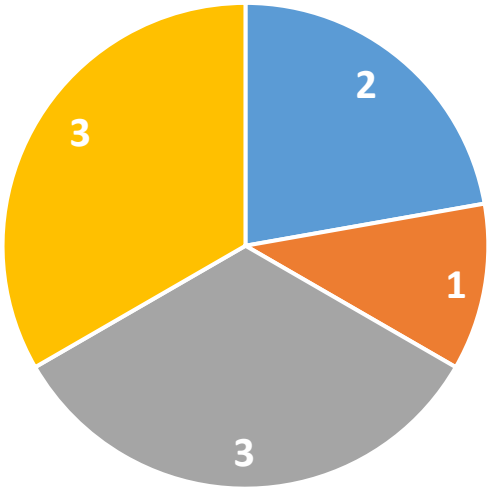




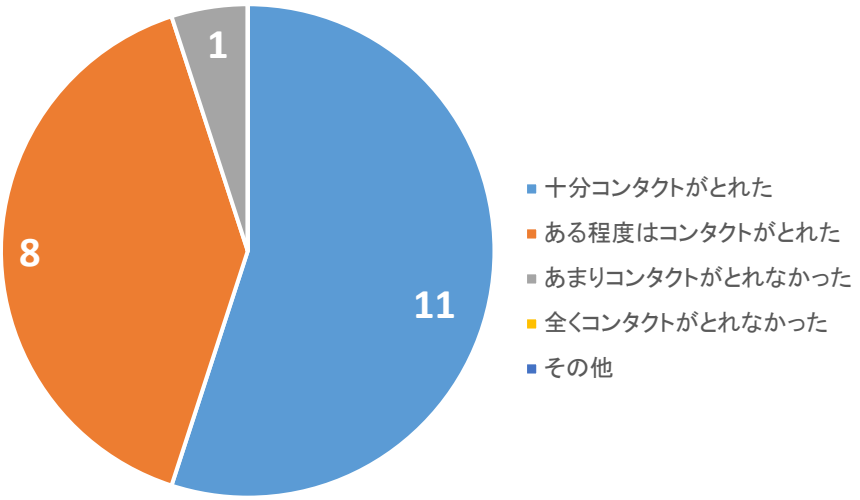
[3] 企業／博士人材とコンタクトがとれましたか？

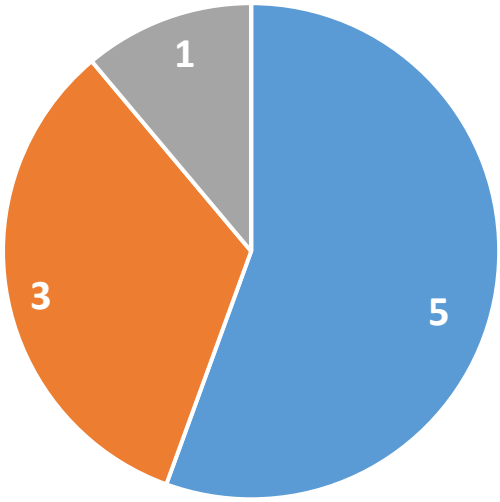
■連絡先一覧を使用してのコンタクトについて



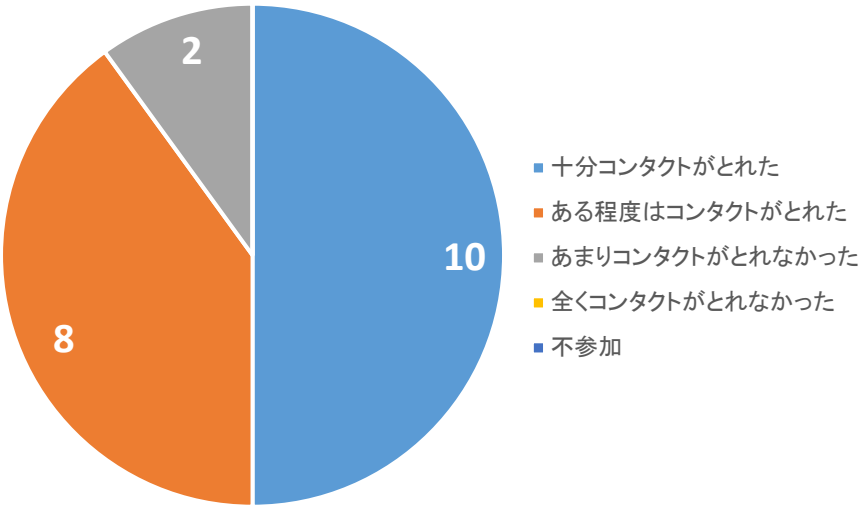


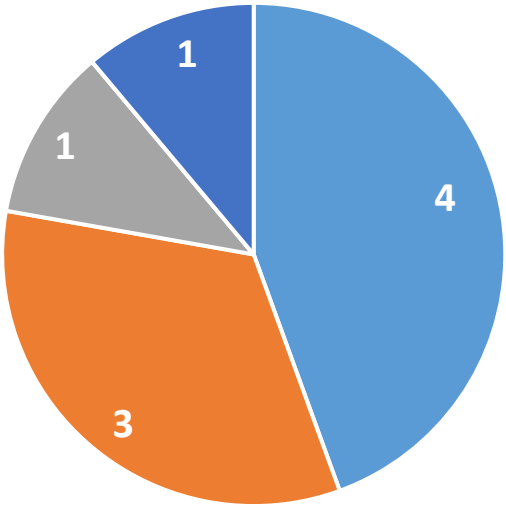
■Zoom(企業ルーム交流会)でのコンタクトについて





■SpatialChat(懇親会)でのコンタクトについて



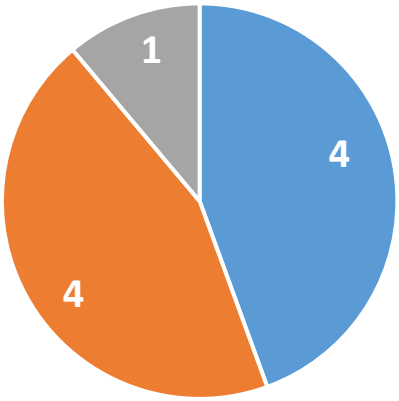


■プログラム全体のコンタクトについての感想　　※博士人材

1	オフィシャルな説明会では聞けないことまで聞くことができ、解像度が高まった
2	ズームでの個人プレゼン，企業ルームへの訪問，Spatial Chatでの交流会と3ステップを踏んで交流できたのが非常に良かった。各段階ごとに内容の粒度が異なる交流は非常に理解が深まった。
3	かなり分野の近い方や自分の論文を以前から読んでくれていた人がいて、深い話までできた。
4	企業のアピールポイントだけではなく、その企業に決めた要素や組織としての課題まで知ることができ、大変勉強になりました。
5	最初の10分間の交流時間はあっという間で話の途中でブレイクアウトルームが終了してしまうことも多かった。
6	博士プレゼンのセッションは1企業10分で少し短いと感じました
7	いろんなバックグラウンドを持っている方々との交流が楽しかったです。企業との交流を通して就活にあたって自分とは完全に違う価値観や考え方を知れて大変勉強になりました。例えば、テルモ株式会社の島森さんとの交流で、やはり自分のスキルは自分が思っていたより幅広い業界で活躍できることを悟りました。今までは製薬業界しか考えていないですが、自分のスキルは実は化学メーカー、医療機器メーカーなどにも活かせるので、視野が広げられました。
8	SpatialChatにて、前半30分ほどchromeでもWindowsでも入室後音声が聞こえず交流出来ませんでしたが、何度か入りなおすことで最終的には音声が聞こえるようになり、交流を図ることができました。
9	少人数のセッションだったので、話しやすかったです。
10	企業の方が意外に優しい　事前の不安が話し合いからなくなりました
11	企業のぶっちゃけた話や逆に質問されるなどある程度深いコミュニケーションをとることができたのでよかった。
12	ブレイクアウトルームの時間制約で途中で会話が終わってしまうことが多々あった
13	企業の方から様々な選考ルートの提示があった。
14	比較的気楽に色々な企業の方々の話を聞けて良かった。懇親会で他者の質問も聞けて良かった。
15	様々な業界で尚且つ、業界を牽引しているような企業様がいらしていたので、幅広くお話をきけたのがよかった。
16	企業ルーム交流会は、各ターム時間が区切られているので、効率的に様々な企業と関われた。 反面、自身の研究には興味を持たれていないのか、プレゼンテーションでは企業とのコンタクトがあまり取れなかった。3分プレゼンしたとして、企業との交流が7分しかないのは物足りなさを感じる。
17	企業ルーム交流会や懇談会では、企業の人と十分にコンタクトを取ることができ、質問などを聞くことができました。ただ、博士人材のプレゼンでは、フリーセッション2回の間に企業の人が誰も来なかったため、悔しい思いをしました。反省して、次回のアピールの仕方を考えます。
18	企業のHPでない情報も得られました。
19	十分にコンタクトを取れた
20	企業の研究や企業が求めていることがある程度分かった

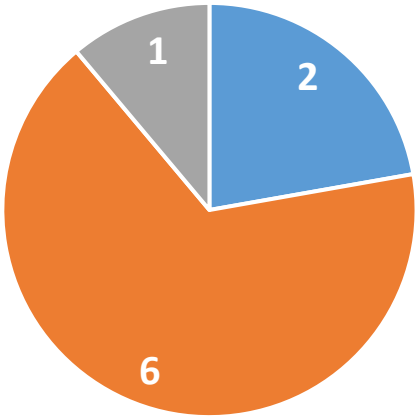
［4］企業のみ

参加博士人材について



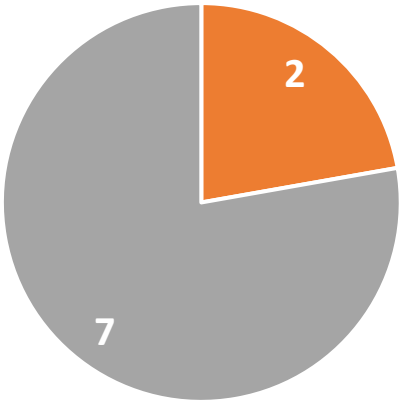
- 1.欲しい分野の博士人材に会えた
- 2.意外な分野の博士人材に出会えた
- 3.どちらでもない

参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください。



- 1.採用したい博士人材がいたので、今後交渉を進めたい
- 2.採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい博士人材がいた
- 3.コンタクトを取りたい博士人材はいない

DC・PDのインターンシップ（1ヵ月位）について

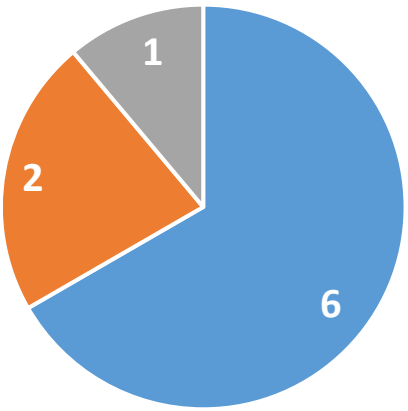


- 1.受け入れを表明している
- 2.受け入れてもよい
- 3.受け入れは難しい

「3.受け入れは難しい」を選択された方：
差し支えなければ、理由をお教えください。

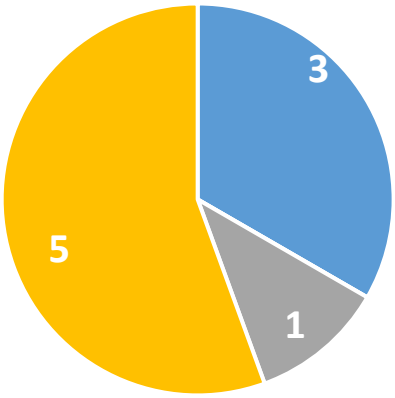
インターンは長期(最短6ヶ月)と定めております。
受入れ体制が整っていないため
インターンシップを開催していないため
専門性を活かせるような1か月程度のインターンシップは提供できないため。ただし、1年半の長期インターンシップはDC・PD関わらず広く募集はしているため興味のある方がいればご案内可能。
現在、弊社では学位や分野に関わらず個別のInternship受け入れを実施していないため、恐縮ながら難しい状況です。
現場での受け入れキャパシティがないため

DC採用について



- 1.定期的に採用したい
- 2.時期に関わらず、採用したい
- 3.採用については未定

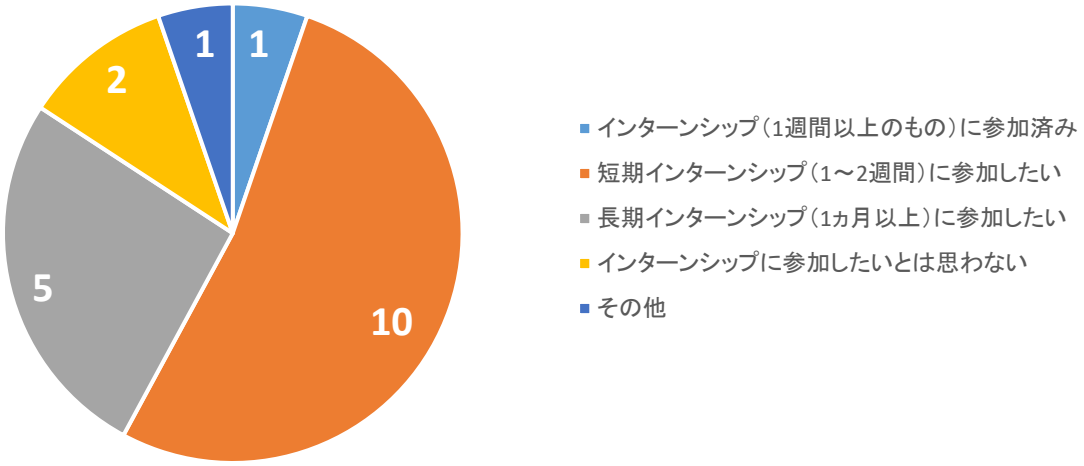
Hi-System（博士人材と企業の双方向ネットワーク）はどのように利用していますか？



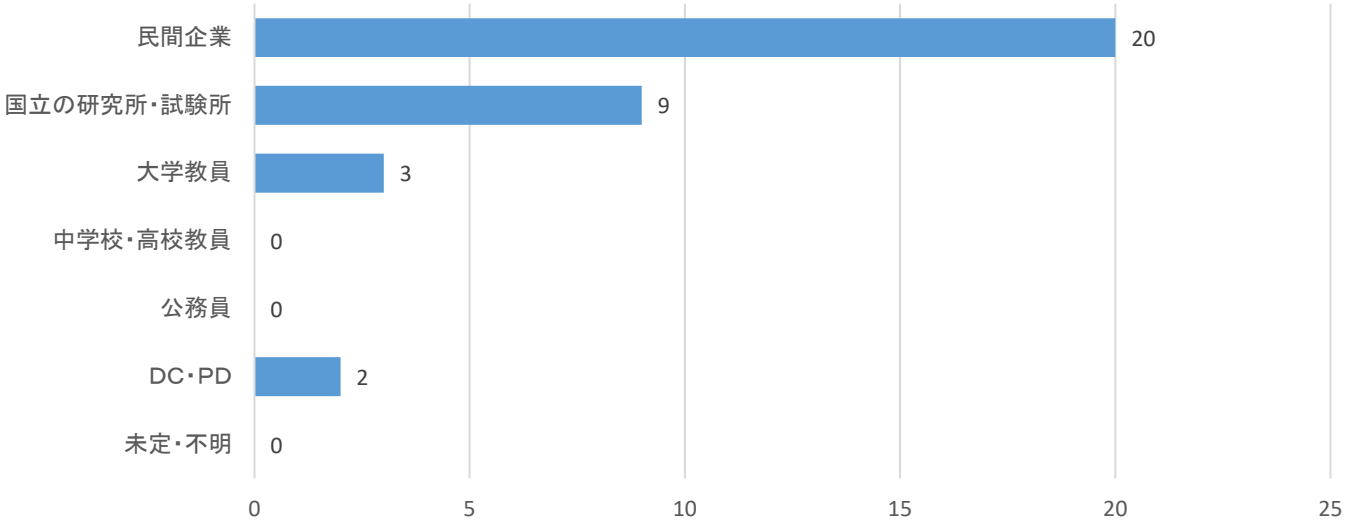
- 1.イベント参加
- 2.コミュニティ
- 3.博士人材検索
- 4.利用していない

[5] 博士人材のみ

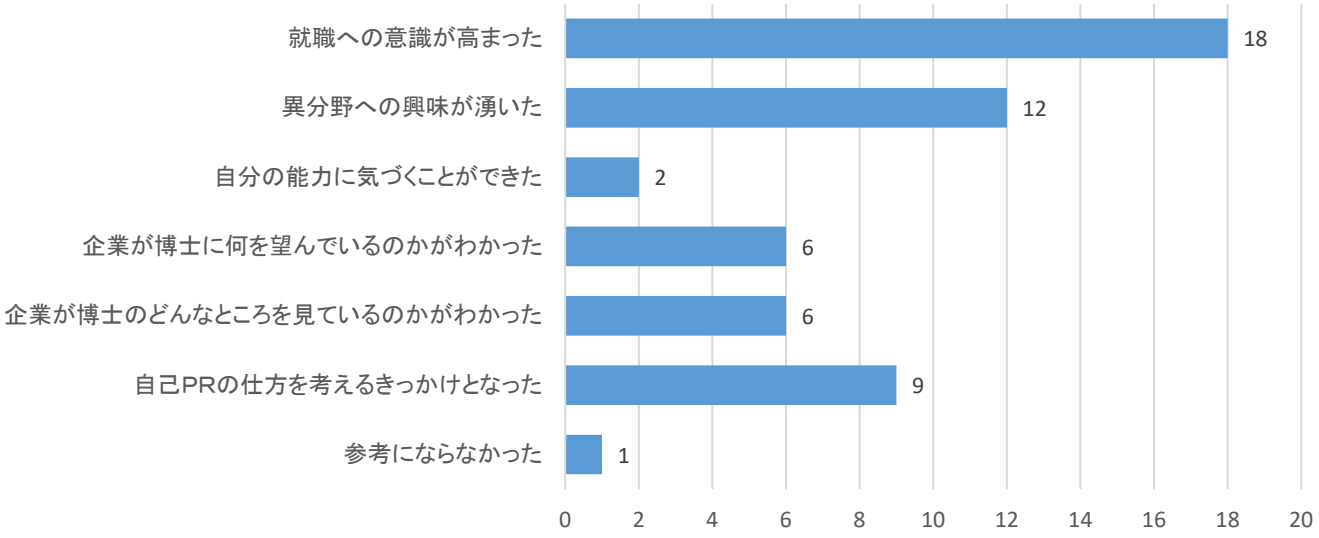
本会参加の企業に限らず、インターンシップに参加したいと思いますか。



あなたは、今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）



「赤い糸ONLINE」は、進路決定の参考になりましたか？（複数回答可）



[6] 「赤い糸ONLINE」に参加して新たな気づきはありましたか。それはどのようなことですか。（博士人材のみ）

1	研究者としてのスキルセットの豊富さが重要だと考えていたが、新たな修得技術が現れたときの適応能力の高さを伝える方が、働いてからのイメージを持ってもらえると気づいた。
2	改めて自身のセールスポイントに気づくことができた。今後の就職活動では，自身の強み，弱みを本日得た気付きとともに言語化していく重要性を強く感じた。
3	意外と自分が企業に対して固定概念を持っていたこと
4	これまで合わないだろうと思っていた業界についても、自分の特性や能力を活かせそうな場があるということ。
5	自己PRや将来のビジョンについてよく考える機会になった
6	異なる企業は博士に求めることは全然違うと実感できました。
7	自分のスキルは製薬業界ではなく、化粧品業界、化学メーカー、医療機器メーカー、さらにとめ研究所の画像解析研究にも活かせることです。
8	専攻分野からは製薬や化学メーカーを検討していましたが、化学に携わるといっても商社もあればコンサルティングを行う企業もあるなど、これまでに考えることのなかった異なるアプローチを知ることができました。
9	自分が今まで知らなかったまたは興味の無かった企業を知る良いきっかけとなった
10	人とのコミュニケシュンが大事　仕事は研究よりチームワークが大事です
11	企業の人も採用にかけることができる時間は限られているため、準備を早めから行い様々な角度の視点を取り入れて自分を表現する必要があるということを確信した。
12	博士進学して何を得たか、どんな野望があってここにいるのかを明確にしておくことが非常に重要であることに気づいた。オンライン交流の独特の空気感は慣れが必要だと感じた
13	企業の方が博士人材を求めている。
14	博士卒業者のキャリアパスが思った以上に広いと感じた。
15	私の大学は、博士課程がそこまでいるわけではなく、このような博士課程向けの企業マッチングをはじめとした情報収集がとても難しい状況ですので、就活の意識や、企業の求める博士人物像など、またキャリアパスなどいろいろなことを知ることができ大変ためになりました。
16	一見分野が関係ない会社でも、どのように活躍できるか考えるべきだったこと
17	時間内に全ての企業と交流することはできませんでしたが、前回開催の赤い糸会よりも「異分野の企業への興味」が強まりました。企業の人への質問力も上がった気がします。（複数回のイベント参加を経て、本会の趣旨を理解したからかもしれません。）
18	特にありませんでした。
19	オンラインならではの難しさ
20	自分と近いことを企業で研究していることがわかったこと

［7］今後、博士人材へ期待すること・要望など（企業のみ）

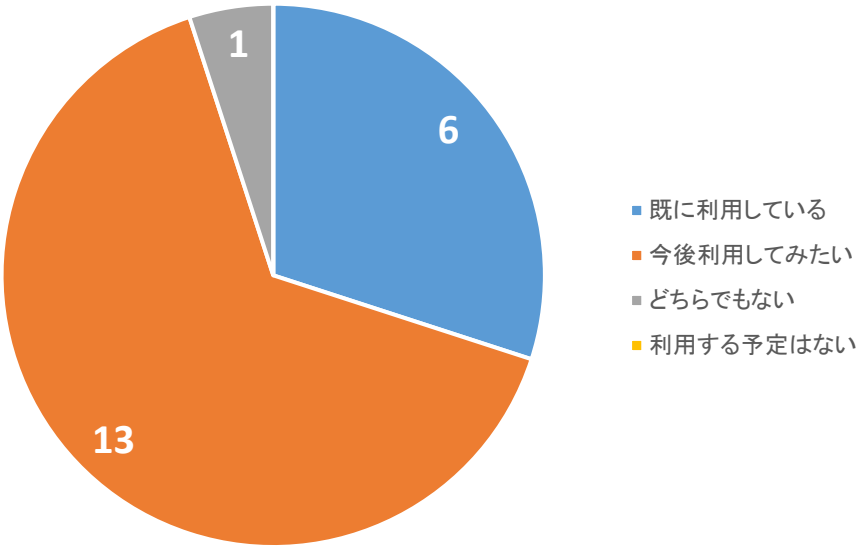
1	問題解決能力、自主的行動、チームワーク
2	新たに始める分野でも適応できる研究力に磨きをかけてほしいです。
3	自己の知見、能力、成果を社会へ還元するビジョンを深めていただきたい
4	自分の専門に限らず、広い視野で自分のスキルを発揮する気概を持ってほしい
5	研究で培った探求心、仮説検証力を別の分野でも生かしたい思いがあればぜひご検討いただきたい。
6	恐らく、博士人材の皆さんが想像する以上に、色々な会社に思ってもいなかった可能性が広がっていると思います。ご自身の専門分野はしっかり「お強み」として捉えていただきつつ、是非視野を広く「働く」事について考えてみていただけますと幸いです。
7	現在の専門に限らず幅広い視野を持って欲しい
8	今と変わらず、ご自身の研究第一で技術とソフトスキルを磨いていただきたい
9	複数技術の融合、アーキテクト力の更なる向上を期待しております。

[8] 全体を通して、「赤い糸会」（赤い糸ONLINE）についての意見、要望など

博士人材

1	博士課程の研究職の就職活動において情報がなく困っていたが、基礎的なプレゼンの仕方から交流の繋げ方まで知ることができて、勉強になった。前半の博士からの発表の時間は10分であったが、ブレイクアウトルームに企業の方が来るのが遅れる場合が多く、実質8分くらいだったので、発表2分と交流6分くらいのイメージの方が正しかったように思う。
2	Spatial Chatでの交流会での終了タイミングが曖昧だった点が気になった。実際の企業様との交流は非常に有意義であった。
3	良いと思う。
4	遅くまでありがとうございました。以前より様々な業種・業界ともお話をすることができました。毎回思い切ってなじみのない業界の方にお話を伺うようにしていますが、視野と自身の能力が生かせそうな選択肢が広がっていき、企業研究が楽しくなります。実現は難しいとは存じますが、「化学・バイオ系」の文系バージョンのような、総合職中心の赤い糸会の開催も面白いのではないかと思います。
5	自分の発表を通じた企業との交流時間がもう少し欲しい
6	博士プレゼンのセッションは，ブレークアウトルームへの移動は時間がかかりますので，１企業１０分以上に設定したほうがよい気がします
7	今回の博士プレゼンのフリーセッションでは二回とも企業が来なかったので、できれば企業数をより増やしていただきたいです。
8	プレゼンテーション演習後に企業の方とのマッチがあるので、対策方法が分かったうえで参加できるのがよかったです。事前にスライドの添削とどのようなことに注意して挑めばよいかを知ってから当日を迎えることでより有意義な交流会になったと考えました。
9	いつもありがとうございます。
10	発表の時間が足りない
11	学生(3回)→企業(3回)→学生(3回)→企業(3回)と交互にプレゼンの機会を行う方がいいと思った。
12	情報交換会で企業ごとにブースが分かれていたので、自分から出向くことで目的の人と話し合いやすかった。しかし、企業ブースの設置により満遍なくいろんな企業の方と話す機会はなかった。
13	赤い糸ONLINEの企業では業種が限られていた。
14	個人的には、zoomで十分聞きたいことが聞けたので、懇親会の時間はもう少し少なくても良かったと感じた。
15	私のような北海道大学以外の学生にもこういった場所をもうけてくださり大変感謝しております。
16	会社に偏りを感じた。
17	まず、本会を開催いただきありがとうございます。前回の対面と今回のオンラインから、企業の人と話す（プレゼンや意見を伝える・聞く）経験を幅広く得ることができました。 要望としては、博士人材のプレゼンの時間が10分と短かったため、長くしてほしいと思いました。 （意外と資料共有に時間がかかることがわかりました。）
18	満足しています。
19	非常に良い機会となった
20	企業の方と話せて面白かったです

企業

1	例年貴重な機会をいただきありがとうございます。情報系専門の方は希少かと存じますが、 専門外でもIT業界に関心を持ってくださる方が増えている実感はあり嬉しく感じました。
2	能力の高い博士人材発掘に大きく役立つイベントだった。
3	優秀な人材とコンタクトを取ることができる有意義な会でした
4	毎回良い方との出会いができており大変感謝しております。 博士採用について今後もご相談等させていただきく存じます。
5	博士課程の皆様の熱い思いや視野を広げてみようという気持ちに触れて新鮮でした。
6	本日はスムーズな運営をありがとうございました。 沢山の優秀な博士人材の方達とお話しする事ができ、非常に有意義なお時間となりました。
7	特にございません。いつも博士人材との出会いを創出頂きまして感謝しております
8	最後の交流会に使ったアプリはバグ、または設定不備による他の企業ブースの声がこちら側で どう設定しても聞こえてしまい、弊社のブースに来た学生と満足のいく交流ができなかった
9	多くの学生様と接触をできた事は大変有意義でした。ありがとうございました。 次年度は対面でも参加させていただけましたら大変うれしく思います。よろしくお願いいたします。

[9] J-window
(先端人材育成センター担当教員との面談、エントリーシートなどの添削、面接練習)の利用について